

令和3年度重点目標の評価

令和3年度 重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期から拠点につながる切れ目ない支援を更に充実させていきます。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・区・拠点のどちらかに参加できるよう、妊娠期にタイムリーに参加できる講座(両親教室等)を区と拠点が連携して毎月開催します。 ・妊婦向け講座をサテライトで行い、拠点で開催する妊婦向け講座に参加しにくい方も受講できる機会を設けます。 ・都筑区の子育てネットワーク会議を通じて、妊娠期からの切れ目ない支援の理解を地域に広げていきます。
取組の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・区と拠点で、両親教室や妊娠期に参加できる講座を昨年度より回数や場所を多く開催したことで、産後間もない時期に拠点を利用する家族が増えました。 ・地域で安心して出産、子育てするために、都筑区の子育てネットワーク会議で、「妊娠期からの切れ目ない支援」の必要性を共有し、南部方面の支援者とともに、妊娠中の方とその家族とを、地域の間や人につなげる機会をつくることができました。 ・「妊娠期からの切れ目のない支援」について、ネットワーク交流会で研修を実施し、地域の支援者と共有し、意見交換を行い、妊娠期の支援について、地域の関心・理解を深めました。
取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期の方へ情報を届けられる機会が、主に区での母子手帳交付時や、両親教室の場でした。妊娠期の方へ必要な情報を届ける方法や機会が少ないことが課題です。 ・妊娠期から産後の早い段階で、必要な支援や場につながるため、妊娠期の方の感じている不安感や、求められる支援について、調査が必要だと感じました。 ・長引くコロナ感染症により、子育ての孤立化が高まる中、出産、育児に関して今後も影響を及ぼすと考えられます。「妊娠期からの切れ目ない支援」は、区や拠点だけで取り組むことは難しく、地域で妊娠期や子育て期の家庭を見守る環境づくりが必要と感じました。妊娠期からの切れ目ない支援の必要性を、地域でさらに理解を深められるよう、効果的に伝えることが課題です。
令和3年度 重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点事業を通じて、多様性を感じられる環境をつくります。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点にて、地域作業所のパン販売、作品展示などを通じて、日常あまり接点の持ちにくい人々が出逢い、お互いを知る機会をつくります。 ・多言語のおはなし会などを実施して外国籍の方々と交流する機会を増やしていきます。
取組の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な人が訪れ交流することで多様性を自然と受けとめることができるように、拠点にて生活介護事業所の作品展示やパン販売を行いました。当事者による作品の入れ替えやワークショップを開催することで、日頃あまり接点の持ちにくい人々の自然なつながりや交流を持つきっかけとなりました。 ・他団体と連携し当事者による「多言語おはなし会」「子育てワークショップ」を開催しました。外国の方々と互いの文化を知り、楽しみながら交流する機会となりました。 ・地域に住む外国出身の方が母国の紹介として、民族衣装・玩具などの展示を行いました。当事者自らの情報発信の場となるとともに展示を通して拠点を訪れる人が様々な文化に触れる機会となりました。
取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点だけでできることは限られているため、様々な人や関連団体と連携し、多様な方がお互いを知り、認め合えるきっかけとなるような場や機会づくりが必要です。 ・自分らしい子育てができるよう、障がい、外国につながる方など多様な背景を持つ方々が、気軽に利用できる機会づくりが必要です。

令和3年度 重点目標	・公園遊び等事業を通じて、子育てネットワークを更に深めていきます。
取組内容	・地域の子育て支援者との関係を深め、拠点と地域のつながりを更に深めるため、日常的な公園遊びに参加するなど既存の事業を通して拠点が地域の子育て支援関係者や団体、場へ出向く機会を増やしていきます。
取組の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・南部方面で地域ケアプラザが開催していた健康づくりの体操企画にひろば利用者と一緒に参加できたことで多世代交流の場をつくることができました。そのことがきっかけとなり北部方面でも地域ケアプラザとの連携で新たな実施につながりました。 ・拠点主催の公園遊びに、地域の生活介護事業所も一緒に活動しました。普段接点をもちにくい人々がお互いを知る機会となりました。 ・「外遊び体験会」を2つの公園で開催しました。親子に外遊びの楽しさ、大切さを伝えることができました。また地域主催の公園遊びを知らなかった方が体験会へ参加したことで地域活動の周知につながりました。
取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ぐるみで子育て世代を見守っていけるよう、子育て支援関係者だけでなく、様々な方に子育てへの興味関心を持ってもらえるような場や機会をさらに増やしていく必要があります。 ・子育て世代の親子が地域を知り、つながりをもてるように地域へのつながりを丁寧に行っていく必要があります。 ・外遊び体験会では、外遊びを促すという目的は十分に達成できていますが、日常の外遊びの中に「自然あそび」が浸透していないことが課題です。日常的な公園遊びを通じて、親子が自然遊びに触れられるよう、支援者向けの自然遊びのスキルの習得の機会を検討します。